



国際物流管理士 資格認定講座



第46期 開講のご案内

会期(予定) **2024年9月~2025年3月**

国際物流のスペシャリストを育成する講座として、1979年に開講しました「国際物流管理士資格認定講座」は、現在1,659名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界より非常に高い評価をいただいております。(2024年3月末現在)
本講座は、広範に渡る国際物流について、概論から応用までわかりやすく解説するとともに、企業事例や物流施設見学、グループ討議・ケーススタディなどを取り入れた実務に直結するカリキュラム構成としております。
2020年度から、オンライン講座として、インターネットとパソコンがあれば、どこからでも受講できるようになりました。
国際物流スペシャリストの育成に、ぜひ本講座を積極的にご活用くださいますようお願い申し上げます。



国際物流人材に関して、こんな悩みはありませんか？



- 国を跨ぐ調達・生産・物流といったサプライチェーンの構築・改善について企画・立案・実践・見直しができる人材を育てたい。
- 国際物流の現状を把握したうえで、課題の設定や解決に向けた中心的な役割を担うリーダーを育成したい。
- グローバル動向や顧客のニーズを的確に捉え、シーズの発掘を積極的に行うことができる、企画提案力を持った人材を育成したい。
- 顧客に対し、国際物流を含めた複合提案ができるような人材を育てたい。
- 多国間取引の増加に伴い、国際物流の基本に加えて最近のFTA/EPAの条約等の国際法規・ルールを習得した、ロジスティクスの円滑化に貢献できる人材を育てたい。
- 次代の海外駐在要員として、各国の物流事情の把握、現地マネジメント手法を身につけた、グローバル視点を持つ人材を育てたい。

本講座では、実務への応用が可能なスキルを身につけていただきます。



- 国際物流に関する専門知識やマネジメント技術、最新情報や企業事例を総合的に学べます！
- グループ討議やケーススタディを通じて、実践力を習得します！
- 様々な業種・役職の方々との交流を深め、実務では得がたいヒューマンネットワーク(人脈)を構築します！
- 世界で使えるわが国唯一の国際物流スペシャリストの証「国際物流管理士 International Logistics Master」の資格が得られます！

本講座は、どこからでも参加いただけるオンライン開催です。

- 本講座は、すべての単元をオンラインで開講します。(ZOOM ミーティングを利用)
- インターネットとPCがあれば当日どこからでも受講可能です。
(例：オフィスの会議室、リモートワーク先※ご所属の方針でお決めください。)
- 人脈づくりの機会として、課外後のオンライン意見交換会も開催します。
- 資格認定証授与式は、JILS本部(東京都港区)で開催予定です。



【講座内容をご紹介】オンライン受講説明会を開催します(講師による最新動向等解説、修了生体験談等)。
(開催予定日：2024年6月20日(木)・7月下旬(いずれも午後、オンライン予定))

■ 詳細・お申込 <https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html>

受講者データ (過去5年間)

- ▶ **業種** 製造業(23%)、物流子会社(28%)、物流事業者(41%)、商社・卸・小売業(2%)、情報関連(2%)、その他(4%)
- ▶ **年齢** 20代(13%)、30代(44%)、40代(38%)、50代(5%)
- ▶ **役職** 一般(51%)、主任・係長(21%)、課長(22%)、部長・役員(3%)

本講座は、自社や顧客の国際物流の高度化をリードする人材を育成します。
国際物流スペシャリストとしての活躍を期待されている様々な立場の方が、国際物流を俯瞰しつつ、リーダーとして実践する能力を身に着けるために派遣され、受講しています。

カリキュラム概要 (18日間《見学を除く》)

※下記内容は予定です。諸事情により変更になる場合がございます。詳細は、HP・講座パンフレットにてご案内いたします。

単元名	講義内容
開講式	
第1単元 グローバルロジスティクスの アウトラインを捉える (1日)	国際物流とロジスティクス/グループ討議/前期総代による講演/キックオフミーティング(交流会)
第2単元 輸出入業務の流れと貿易実務に 必要な知識を学ぶ (3日)	国際マーケティングとインコタームズ、ウィーン売買条約/輸出入における通関業務と保税手続き、 通関システム/FTAとEPA、原産地規則、AEOとの関係/貿易売買契約と各種決済方法、外国為替と リスクヘッジ、国際ファイナンス/FinTech(貿易取引のデジタル化)
第3単元 国際物流の根幹を成す 海上輸送を理解する (2日)	国際海上輸送概論/海上個別運送契約/船荷証券/Sea Waybill/複合運送証券/海上コンテナ輸送/ フォワーダーとNVOCC、国際複合輸送/海上運送における危険物概論/デジタルフォワーディング・ DX物流
第4単元 航空輸送の仕組みとポイントを 理解する (1日)	航空産業概論/航空貨物輸送概論、航空協定、航空運送約款と航空運送状、航空貨物運賃
見学 物流施設	国際物流の最前線を、見学して感じる (講義とは別途、開講期間内にて開催) オンライン見学会(空港の貨物ハンドリング施設等を予定) 現地見学会(税関・コンテナターミナル等(横浜)を予定)
第5単元 グローバルサプライチェーンの 可視化と最適化の手法を学ぶ (3日)	国際物流におけるコストとKPIの算定と既存業務プロセスの見直し/サプライチェーン最適化の ためのシステム構築/グローバルサプライチェーンの各種改善技法/3PL概論/3PL導入事例/ 3PL実践事例/グループ討議
第6単元 国際物流のリスクを理解し、 対処する方策を学ぶ (2日)	リスクマネジメント・BCP概論/国際物流におけるリスクマネジメント事情・リスクマネジメント ワークショップ/国際物流におけるロスプリベンション/貿易貨物保険とクレームの実務
第7単元 海外の最新物流環境を学ぶ (2日)	インドの最新物流事情/欧州の最新物流事情/米国の最新物流事情/ASEANの最新物流事情/ 中国の最新物流事情
第8単元 グローバル企業が直面した課題 と解決方法を学ぶ (2日)	SCMの視点から取り組む海外現地における改善活動/海外駐在における駐在員の役割と心得/駐在経験者 による座談会/グローバルサプライチェーンの構築事例/最新テック/ロジを活用したグローバルサプライチェ ーン構築事例/アパレル産業におけるCSR・CSVをふまえたグローバルサプライチェーン構築事例
第9単元 あるべき姿に到達するための 実践力を身につける (2日)	ケーススタディ「グローバルロジスティクス改革」

受講料

当協会会員 **440,000円(税込)/1名**

【受講料に含まれるもの】 1) 電子テキスト 2) 審査料

【主催・本講座のお問い合わせ先】

上記会員外 **550,000円(税込)/1名**

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズベイティアム3階
E-mail: ilm@logistics.or.jp

受講検討のご相談 (オンライン面談等) ・お問い合わせには随時対応いたします。

E-mail (ilm@logistics.or.jp) にてお気軽にお問い合わせください。

なお、日程・カリキュラムを掲載した講座パンフレット (紙・6月発刊予定) の送付を希望される方は、下記を併記ください。
送付先住所 (郵便番号)、会社名、部署名、役職、氏名 (宛名)、電話番号

※最新のパンフレットは電子データ (PDF) を講座HPに掲示します。

※個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (JILS) では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー
(<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。お客様にご記入いただきました個人情報は、本講座に関する確認・連絡・
受講者名簿の作成および当協会主催の開催催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

JILS ホームページ <https://www1.logistics.or.jp>